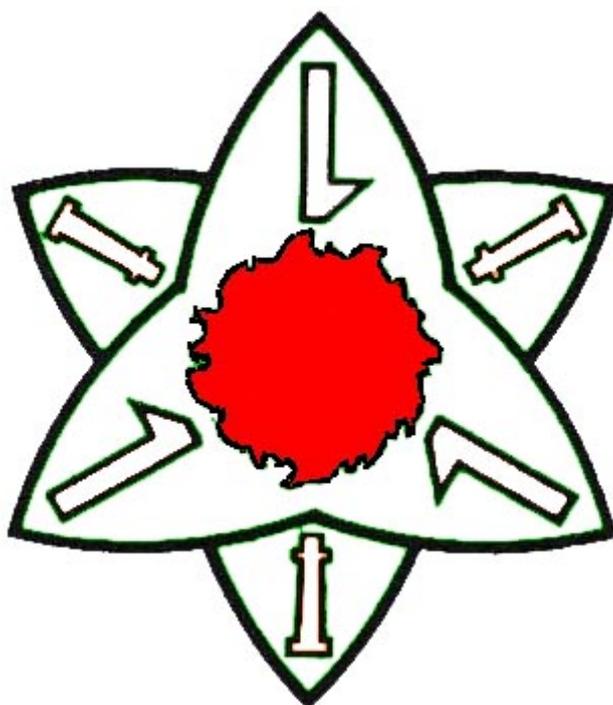


平成22年

救急・救助統計



火事と救急・救助は119番

消防テレホンサービス 22-9944

(火災情報・休日診療情報)

酒田地区広域行政組合

この統計は、平成22年（1月～12月）の酒田地区広域行政組合管内における救急・救助業務の実態を調査分析し、今後における円滑な業務の推進と救命率の向上を図るとともに住民の皆様からご理解とご協力を頂くために作成したものです。

目 次

	頁
救急・救助の概要-----	1～3
救 急	
1 月別事故種別ごとの出場件数及び搬送人員-----	4
2 市町別の救急出場件数及び搬送人員-----	5
3 年齢区分別に見た事故種別ごとの搬送人員-----	6
4 傷病の重症度別搬送人員-----	7
5 救急出場件数及び搬送人員の推移-----	7
6 事故種別ごとの出場件数の推移-----	8
7 主な事故種別の推移-----	8
8 曜日別の出場件数-----	9
9 覚知時刻別の出場件数-----	9
10 現場到着所要時間別の出場件数-----	10
11 収容所要時間別の搬送人員-----	10
12 医療機関別の搬送人員-----	11
13 救急隊員が行った応急処置-----	12
14 消防職員の救急隊員資格の取得状況-----	13
15 特定行為の実施状況-----	13
16 応急手当普及啓発活動の実施状況-----	14
17 消防隊等による救急活動支援の状況-----	15
救 助	
18 事故種別救助活動の状況-----	16
19 月別の救助活動の状況-----	17
20 市町別救助活動件数及び救助人員-----	18
21 曜日別救助出動の状況-----	19
22 交通事故における要救助者の重症度の状況-----	19
23 酒田管内へのヘリコプター出動状況-----	19
24 消防救助技術指導会出場状況（過去5年間）-----	20

救急・救助の概要

1 救急の概要

“ 救急出場件数は約 6, 200 件、1 日平均約 17 件 ”

平成22年中における救急出場件数は6,195件で、前年に比べ419件(7.2%)増加し、1日平均にすると16.9件となります。

救急車で医療機関に搬送された方は5,812人で、前年に比べ421人(7.8%)増加し、管内の約26人に1人が搬送されたこととなります。

事故種別は、上位から「急病」が4,186件で全出場件数の67.5%を占め、次いで「一般負傷」788件(12.7%)、「転院搬送」576件(9.2%)、「交通事故」395件(6.3%)の順となります。

年齢区分別では65歳以上の方が3,837人で、全体の66.0%となり、年々増加傾向にあります。これは高齢者人口の増加により、「急病」及び屋内や屋外での転倒による怪我等が多く発生していることが要因と考えられます。

特徴としては、出場件数が7年連続して5千件を超え、前年と比較すると「急病」、「一般負傷」、「転院搬送」が増加し、「交通事故」、「労働災害」が減少しています。

また、傷病程度別搬送人員を見ますと、当日帰宅した軽症患者が43.9%を占めていることから、救急車の適正利用についての啓発活動を継続していきます。

2 高度処置救急隊の救命処置状況

“ 心肺機能停止状態に陥った傷病者の搬送は前年より増加 ”

心肺機能停止状態に陥った方は、211人(前年192人)で、そのうち救急救命士が行う蘇生等の高度な救急処置(器具を用いた気道確保・静脈路の確保及び薬剤投与)を施した方は、163人(前年150人)となっています。

その結果、脈拍または呼吸が再開した方は、39人(18%)で、前年より3人増えています。1か月後の生存者は12人で、前年に比べ6人増えています。救命率(1か月後の生存率)は、5.7%(前年3.1%)となり、対前年比では2.6ポイント増加しています。

3 応急手当普及啓発活動の状況

“ 応急手当講習会は2,925人が受講 ”

平成6年から始めた住民に対する応急手当普及啓発活動は、心肺蘇生法等の実技指導

を中心として、普通救命講習Ⅰ(3時間)、普通救命講習Ⅱ(4時間)、上級救命講習(8時間)及び普及員講習(3日間)の講習会を実施し、2,925人が受講しています。

心肺機能停止状態に陥った傷病者(211人)のうち、バイスタンダーCPR(市民による救命手当)を受けていた方が87人(41.2%)で、前年より16.6%の減、一方で122人(58.8%)の方が救命手当を受けることなく救急車の到着を待っていた状況から、救急講習会等を通じて救命手当の重要性を継続して訴えていきます。

また、4月には、体育館で剣道の指導をしていた方が突然倒れたため、側にいた人達が力を合わせて心肺蘇生とAEDを使用した結果、元気に社会復帰した例がありました。今後も救命率の向上を目指し、多くの方々から応急手当を身に付けて頂くために管内の自治会、事業所等に積極的に応急手当普及啓発活動を働きかけるとともに、小学生高学年・中・高・大学生に対しても、生涯学習の一環である救命講習会のなかで「命の大切さ」と「応急手当の重要性」を訴え、進んで応急手当ができるよう普及啓発に努めていきます。

4 救急出場件数の推移

“ 過去10年間で、救急出場件数は約1.3倍に増加 ”

過去10年間の救急件数は、平成14年と平成21年にわずかに減少したものの、高齢化社会の到来に伴い年々増加し、平成15年に5千件を突破してから増加の一途にあります。

事故種別毎に平成13年と同22年を比較した場合、増加率のトップは「転院搬送」が1.7倍次いで「火災」が1.6倍、「急病」と「一般負傷」が1.3倍、逆に「労災事故」及び「自損行為」が減少しています。なお、「火災」は、平成18年からすべての火災に出場しているため増加しています。

5 消防隊等の救急活動支援の状況

“ PA連携により、安全に迅速な活動が可能に ”

PA連携とは、ポンプ車(Pumper)及び救急車(Ambulance)が同時に出場することで、双方の頭文字から「PA」といい、消防隊と救急隊が連携して傷病者の救出・救護処置を迅速かつ確実に実施することを目的としています。

例えば、心肺機能が停止した傷病者に対して、多くの救急資器材を必要とする高度な救命処置を行う場合や、階段・通路などが狭いために傷病者の収容が難しい場合など、救急隊員のみでは対応が困難な事態に備えるため、必要と認められる場合には、救急車に加えて消防車を同時に出場させています。

PA連携で出動した件数は354件で、前年に比べ44件(11%)減少しています。

6 救助の概要

“出動件数、救助人員ともに前年より減少、事故種別では山岳事故が増加”

平成 22 年中における救助出動件数は 52 件(前年 63 件)で、前年より 11 件 (17. 3%) 減少となっています。事故種別は、交通事故が 30 件で全出動件数の 58%を占め、火災が 3 件 (5. 8%) 水難が 3 件 (5. 8%)、ガス及び酸欠事故が 3 件 (5. 8%)、機械による事故 1 件 (1. 9%)、その他の事故が 12 件 (23%) でした。火災、交通、機械による事故及びその他の事故は減少しましたが、ガス及び酸欠事故が 3 件増加しました。その他の事故では、山岳事故が 7 件と大幅に増加しています。

救助した人員については 29 名で前年より 5 名 (14. 7%)減少しています。山岳事故が増加した理由としては、山菜採りや近年の登山ブームの影響で入山者が増えたためと考えられ、その期間に事故も集中しています。

また、ヘリコプターの出動件数は 11 件で、その内訳は山形県消防防災航空隊のヘリコプター「もがみ」が、酒田地区広域行政組合管内に出動した件数は 7 件、秋田県消防防災航空隊のヘリコプター「なまはげ」が 2 件、新潟県消防防災航空隊のヘリコプター「はくちよう」が 1 件、山形県警のヘリコプター「がっさん」が 1 件となっています。

1 月別事故種別ごとの出場件数及び搬送人員

(件、人)

月別	年別	救急事故種別														合計
		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				
												転院搬送	医師搬送	資器材輸送	その他	
1	平成22年	6 (2)			38 (45)	2 (2)	2 (2)	76 (73)	1	5 (2)	365 (348)	61 (61)			2	558 (535)
	平成21年	3			30 (29)	1 (1)		76 (74)	1 (1)	6 (3)	353 (326)	56 (56)			4	530 (490)
2	平成22年	5 (3)			35 (36)	1 (1)	2 (2)	61 (57)	1 (1)	15 (9)	333 (312)	66 (66)			1	520 (487)
	平成21年	8 (6)			31 (29)	5 (4)	3 (3)	50 (47)		7 (2)	321 (301)	41 (41)			4	470 (433)
3	平成22年	3 (1)			19 (18)	3 (2)	1 (1)	78 (78)	1 (1)	3	379 (345)	44 (43)			6 (1)	537 (490)
	平成21年	1 (1)			22 (21)	2 (2)	1 (1)	65 (60)		7 (7)	332 (309)	34 (34)				464 (435)
4	平成22年	3 (2)			32 (33)	4 (4)	4 (4)	68 (60)	1 (1)	10 (7)	339 (318)	66 (66)			3	530 (495)
	平成21年	4 (1)		3 (1)	27 (27)	4 (4)		56 (56)		2 (2)	286 (264)	56 (55)				438 (410)
5	平成22年	2			30 (31)	2 (2)	6 (6)	71 (69)	1 (1)	9 (4)	346 (325)	50 (50)			1	518 (488)
	平成21年	3 (2)			39 (42)	2 (2)	7 (7)	61 (60)	3 (2)	2 (1)	290 (276)	47 (47)			7	461 (439)
6	平成22年	4 (1)			35 (37)	6 (6)	4 (4)	42 (41)	2 (2)	6 (5)	301 (278)	47 (47)			2	449 (421)
	平成21年	5			41 (40)	3 (3)	3 (3)	42 (41)	4 (4)	8 (4)	296 (282)	45 (45)			1	448 (422)
7	平成22年	5			46 (50)	1 (1)	11 (10)	51 (50)	1 (1)	6 (5)	340 (316)	49 (49)				510 (482)
	平成21年	1			39 (40)	3 (3)	3 (3)	59 (54)	2 (1)	2 (1)	315 (300)	40 (40)			4	468 (442)
8	平成22年	3		6 (3)	37 (41)	2 (2)	3 (3)	71 (65)	4 (4)	5 (4)	408 (386)	45 (45)			6	590 (553)
	平成21年	3			37 (42)	6 (6)	4 (4)	55 (52)		6 (4)	371 (341)	44 (44)	1		4	531 (493)
9	平成22年	1 (3)			30 (39)	2 (2)	3 (3)	80 (74)		6 (5)	329 (313)	48 (48)			2	501 (487)
	平成21年	3			36 (36)	7 (7)	2 (2)	59 (55)	3 (3)	5 (4)	312 (297)	48 (48)			2	477 (452)
10	平成22年	1			35 (34)	4 (4)	4 (4)	70 (67)	2 (2)	4 (3)	353 (328)	31 (31)			2	506 (473)
	平成21年	4			51 (49)	3 (4)	3 (3)	75 (69)		5 (3)	343 (320)	58 (58)			2	544 (506)
11	平成22年	2 (2)			32 (30)	2 (2)	7 (7)	53 (48)		13 (8)	326 (304)	40 (40)				475 (441)
	平成21年	4 (1)			36 (36)	3 (3)	1 (1)	63 (62)	2 (2)	7 (5)	301 (277)	51 (50)			3	471 (437)
12	平成22年	2 (1)			26 (30)	4 (4)		67 (62)	1 (1)	5 (1)	367 (333)	29 (28)				501 (460)
	平成21年		2 (2)		34 (28)	5 (5)	1 (1)	59 (55)		4 (2)	331 (303)	36 (36)			2	474 (432)
	平成22年計	37 (15)		6 (3)	395 (424)	33 (32)	47 (46)	788 (744)	15 (14)	87 (53)	4,186 (3,906)	576 (574)			25 (1)	6,195 (5,812)
	平成21年計	39 (11)	2 (2)	3 (1)	423 (419)	44 (44)	28 (28)	720 (685)	15 (13)	61 (38)	3,851 (3,596)	556 (554)	1		33 (1)	5,776 (5,391)
	増減	△ 2 (4)	△ 2 (△2)	3 (2)	△ 28 (5)	△ 11 (△12)	19 (18)	68 (59)		26 (15)	335 (310)	20 (20)	△ 1		△ 8 (1)	419 (421)

※ ()は搬送人員です。

2 市町別の救急出場件数及び搬送人員

(件、人)

市町別	年別	救急事故種別												合計		
		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				
												転院搬送	医師搬送		資器材輸送	その他
酒田市	平成22年	26 (12)		4	299 (309)	25 (24)	41 (40)	576 (540)	12 (11)	56 (38)	3,060 (2,840)	519 (517)			17 (1)	4,635 (4,332)
	平成21年	33 (10)	2 (2)	2	315 (307)	37 (37)	23 (23)	503 (471)	13 (12)	44 (30)	2,767 (2,568)	485 (483)	1		29	4,254 (3,943)
旧酒田市	平成22年	21 (9)		4	271 (274)	17 (16)	37 (36)	476 (447)	11 (10)	44 (30)	2,475 (2,295)	480 (479)			12	3,848 (3,596)
	平成21年	23 (5)	2 (2)	2	261 (252)	28 (28)	19 (19)	413 (385)	10 (10)	39 (27)	2,202 (2,077)	445 (443)	1		25	3,470 (3,248)
旧八幡町	平成22年	3 (2)			14 (18)		3 (3)	35 (33)		3 (3)	159 (147)	34 (33)			2	253 (239)
	平成21年	5 (5)			18 (17)	1 (1)	2 (2)	31 (29)	1 (1)		159 (147)	38 (38)				255 (240)
旧松山町	平成22年				5 (7)	3 (3)	1 (1)	35 (32)		2 (1)	220 (214)	3 (3)				269 (261)
	平成21年	2			9 (9)	2 (2)		25 (24)		2 (1)	206 (183)	1 (1)				247 (220)
旧平田町	平成22年	2 (1)			9 (10)	5 (5)		30 (28)	1 (1)	7 (4)	206 (184)	2 (2)			3 (1)	265 (236)
	平成21年	3			27 (29)	6 (6)	2 (2)	34 (33)	2 (1)	3 (2)	200 (161)	1 (1)			4	282 (235)
庄内町	平成22年	4 (1)			55 (68)	6 (6)	4 (4)	114 (111)	1 (1)	15 (6)	653 (614)	36 (36)			7	895 (847)
	平成21年	4			61 (68)	5 (5)	1 (1)	114 (111)		10 (4)	632 (603)	47 (47)			3	877 (839)
旧立川町	平成22年				13 (18)	2 (2)	2 (2)	36 (36)		8 (3)	234 (220)	1 (1)			1	297 (282)
	平成21年				8 (13)	1 (1)		42 (41)		4 (1)	188 (181)	2 (2)			3	248 (239)
旧余目町	平成22年	4 (1)			42 (50)	4 (4)	2 (2)	78 (75)	1 (1)	7 (3)	419 (394)	35 (35)			6	598 (565)
	平成21年	4			53 (55)	4 (4)	1 (1)	72 (70)		6 (3)	444 (422)	45 (45)				629 (600)
遊佐町	平成22年	6 (2)		2 (3)	40 (46)	2 (2)	2 (2)	98 (93)	2 (2)	16 (9)	466 (446)	21 (21)			1	656 (626)
	平成21年	2 (1)		1 (1)	43 (41)	2 (2)	4 (4)	102 (103)	2 (1)	7 (4)	450 (423)	24 (24)			1	638 (604)
管外	平成22年	1			1 (1)						7 (6)					9 (7)
	平成21年				4 (3)			1			2 (2)					7 (5)
平成22年計		37 (15)		6 (3)	395 (424)	33 (32)	47 (46)	788 (744)	15 (14)	87 (53)	4,186 (3,906)	576 (574)			25 (1)	6,195 (5,812)
平成21年計		39 (11)	2 (2)	3 (1)	423 (419)	44 (44)	28 (28)	720 (685)	15 (13)	61 (38)	3,851 (3,596)	556 (554)	1		33	5,776 (5,391)
増減		△ 2 (4)	△ 2 (△2)	3 (2)	△ 28 (5)	△ 11 (△12)	19 (18)	68 (59)	(1)	26 (15)	335 (310)	20 (20)	△ 1		△ 8 (1)	419 (421)

※ ()は搬送人員です。

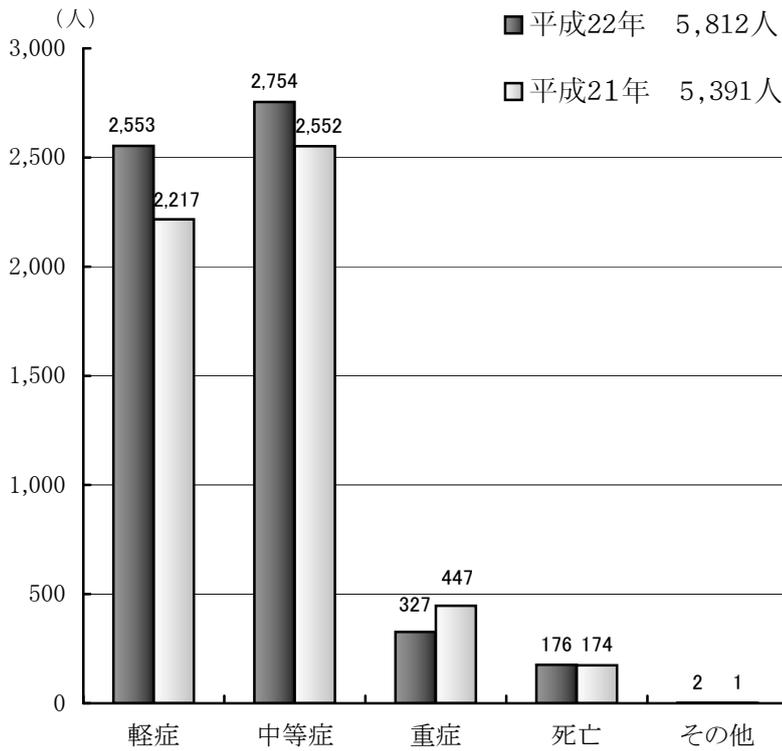
3 年齢区分別に見た事故種別ごとの搬送人員

(人)

事故種別 年齢区分	火 災	自然 災害	水 難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
新 生 児 生後28日以内											2	2
乳 幼 児 生後29日以上満7歳未満				15			27			102	5	149
少 年 満7歳以上満18歳未満	2			46		20	14		2	52	5	141
成 人 満18歳以上満65歳未満	4		3	249	23	26	171	12	37	974	184	1,683
高 齢 者 満65歳以上	9			114	9		532	2	14	2,778	379	3,837
平成22年計	15		3	424	32	46	744	14	53	3,906	575	5,812
平成21年計	11	2	1	419	44	28	685	13	38	3,596	554	5,391
増 減	4	△ 2	2	5	△ 12	18	59	1	15	310	21	421

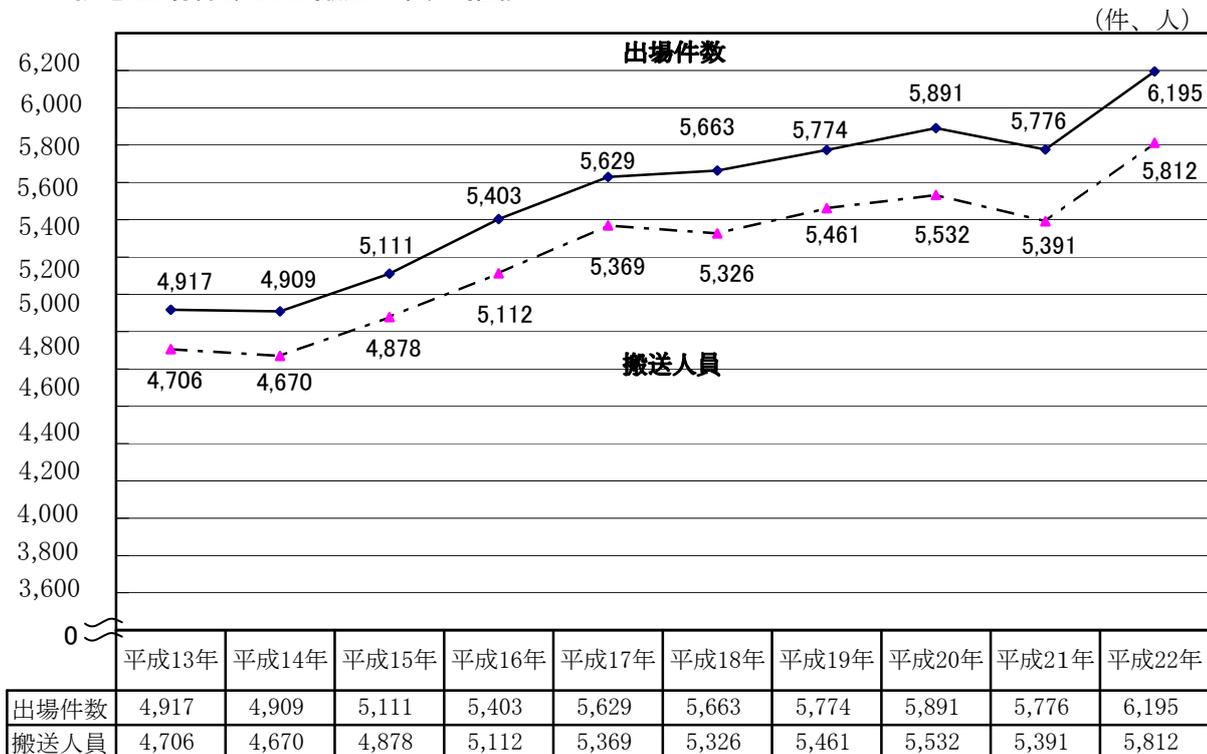
※ 事故種別の「その他」とは、「転院搬送」、「医師搬送」、「資器材輸送」及び「その他(分類不能のもの)」です。

4 傷病の重症度別搬送人員



傷病程度は、初診時における医師の診断に基づき次により分類する	
軽症	入院加療を必要としないもの
中等症	入院加療を必要とするもので重症に至らないもの
重症	三週間以上入院加療を必要とするもの
死亡	初診時において、死亡が確認されたもの
その他	医師の診断がないもの及び搬送先がその他の場所へ搬送したものの

5 救急出場件数及び搬送人員の推移

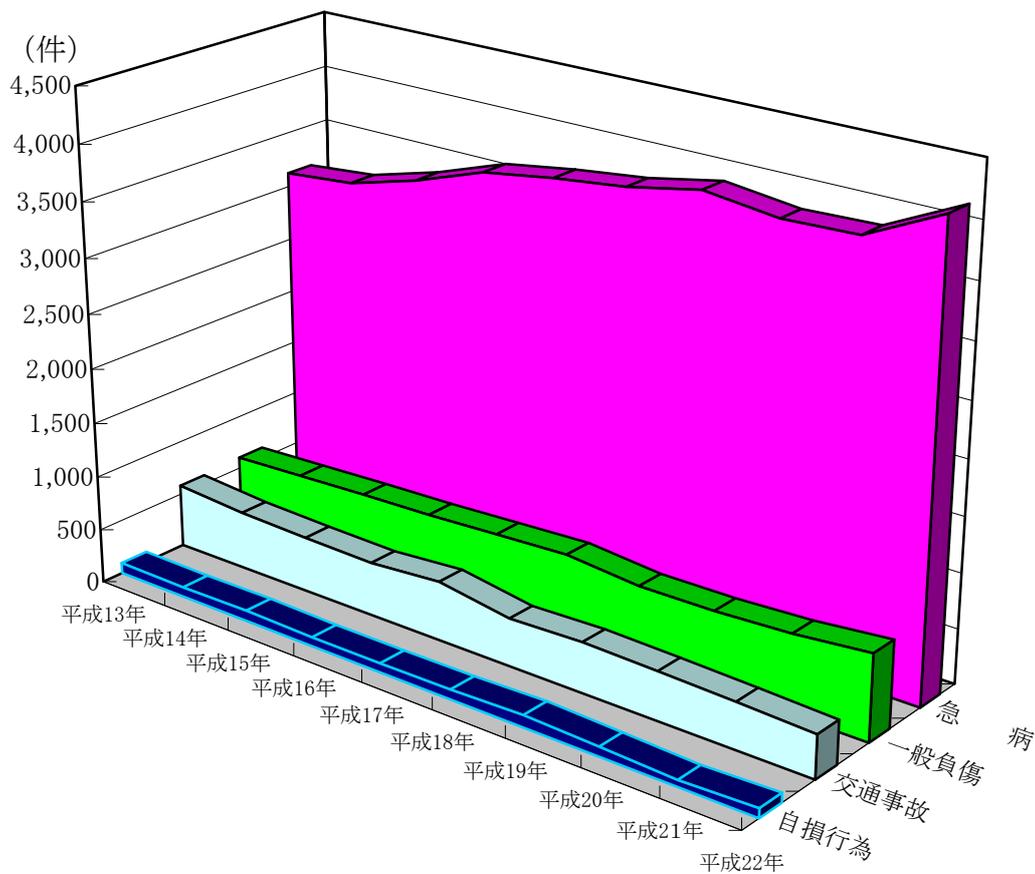


6 事故種別ごとの出場件数の推移

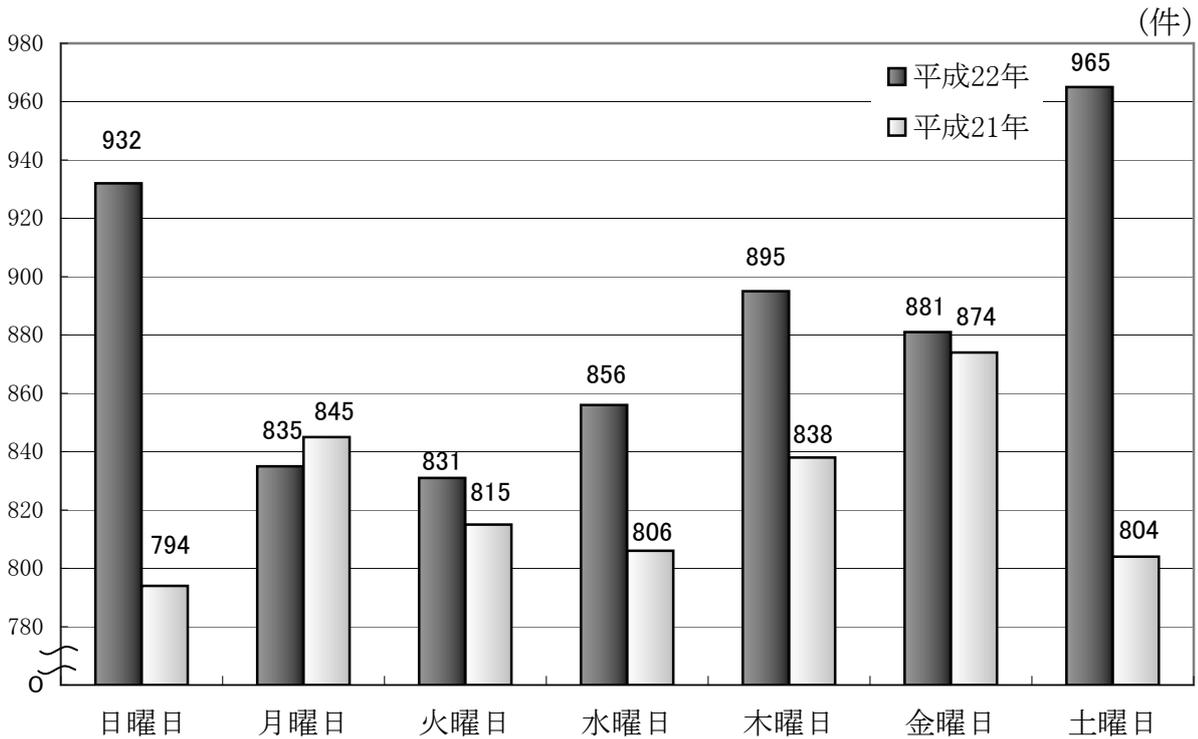
(件)

事故種別 年別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				計
											転院搬送	医師搬送	資器材送	輸送その他	
平成13年	22		13	582	44	40	602	29	97	3,126	332	1	1	28	4,917
平成14年	15		16	531	36	44	629	30	89	3,187	300			32	4,909
平成15年	18		9	508	43	33	656	20	97	3,365	330			32	5,111
平成16年	14	2	9	494	51	33	676	29	83	3,592	388			32	5,403
平成17年	17		8	544	34	56	709	15	83	3,695	432	1	3	32	5,629
平成18年	32	1	11	439	55	54	741	16	90	3,774	413		1	36	5,663
平成19年	31		10	461	46	65	679	12	112	3,904	427			27	5,774
平成20年	36		4	444	40	48	686	20	88	3,825	666	1		33	5,891
平成21年	39	2	3	423	44	28	720	15	61	3,851	556	1		33	5,776
平成22年	37		6	395	33	47	788	15	87	4,186	576			25	6,195

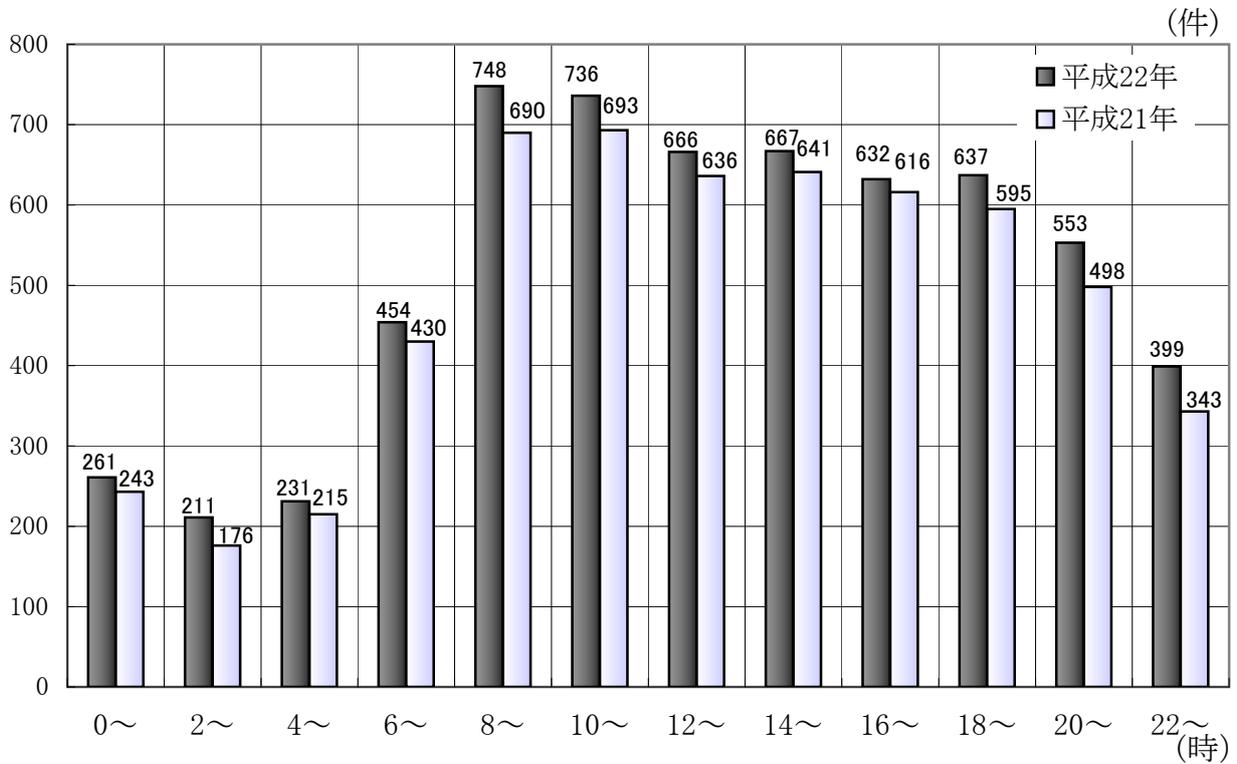
7 主な事故種別の推移



8 曜日別の出場件数



9 覚知時刻別の出場件数



10 現場到着所要時間別の出場件数

(件)

事故種別・年別		時間別					計	平均時間
		3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上		
急病	平成22年	292	1,156	2,147	558	33	4,186	平成22年 6分46秒
	平成21年	288	1,036	1,938	566	23	3,851	
一般負傷	平成22年	74	238	360	109	7	788	
	平成21年	68	215	332	100	5	720	
交通事故	平成22年	28	97	192	70	8	395	
	平成21年	54	108	185	68	8	423	
上記以外	平成22年	135	275	331	75	10	826	平成21年 6分18秒
	平成21年	170	259	289	55	9	782	
計	平成22年	529	1,766	3,030	812	58	6,195	
	平成21年	580	1,618	2,744	789	45	5,776	
比率(%)	平成22年	8.6%	28.5%	48.9%	13.1%	0.9%	100%	
	平成21年	10.0%	28.0%	47.5%	13.7%	0.8%	100%	

※ 救急出場で途中引き揚げした場合は、引き揚げ時間を現場到着時間としています。

※ 平成21年7月から、時間計測の始点を119番の入電時刻に統一したため見かけ上の時間が延びています。

11 収容所要時間別の搬送人員

(人)

事故種別・年別		時間別						計
		10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上	
急病	平成22年	3	660	1,883	1,312	45	3	3,906
	平成21年	8	669	1,622	1,265	31	1	3,596
一般負傷	平成22年		129	335	264	13	3	744
	平成21年	2	117	284	261	21		685
交通事故	平成22年		78	173	166	7		424
	平成21年	1	96	182	129	11		419
上記以外	平成22年	1	251	318	138	14	16	738
	平成21年	2	244	304	131	5	5	691
計	平成22年	4	1,118	2,709	1,880	79	22	5,812
	平成21年	13	1,126	2,392	1,786	68	6	5,391
比率(%)	平成22年	0.1%	19.2%	46.6%	32.3%	1.4%	0.4%	100%
	平成21年	0.2%	20.9%	44.4%	33.1%	1.3%	0.1%	100%

12 医療機関別の搬送人員

(人)

搬送先 月別・年別		管内					管外			医療機関 以外	計
		告示医療機関				非告示の 医療機関	鶴岡市	山形市	山形市 鶴岡市 以外		
		日本海 総合病院	酒田医療 センター	市立 八幡病院	庄内 余目病院						
1月	平成22年	342	115	11	49	8	9	1			535
	平成21年	308	96	7	55	11	11	1	1		490
2月	平成22年	311	111	7	24	12	19	3			487
	平成21年	282	79	9	40	14	8		1		433
3月	平成22年	303	99	15	44	15	11	2		1	490
	平成21年	295	65	7	38	19	11				435
4月	平成22年	327	94	8	44	8	9	3	2		495
	平成21年	259	97	6	25	13	10				410
5月	平成22年	310	108	10	44	9	5	1	1		488
	平成21年	295	82	7	34	8	13				439
6月	平成22年	262	94	6	40	12	7				421
	平成21年	257	92	10	31	19	13				422
7月	平成22年	286	110	9	47	13	15	2			482
	平成21年	280	83	11	35	20	13				442
8月	平成22年	351	105	13	59	14	8	2		1	553
	平成21年	292	118	10	39	21	12			1	493
9月	平成22年	306	98	8	45	14	15	1			487
	平成21年	283	101	7	39	17	5				452
10月	平成22年	363	46	5	36	10	11	2			473
	平成21年	311	110	11	42	17	13	2			506
11月	平成22年	377		7	37	12	6	2			441
	平成21年	269	94	14	32	17	11				437
12月	平成22年	394		8	37	14	6	1			460
	平成21年	282	76	7	47	10	10				432
計	平成22年	3,932	980	107	506	141	121	20	3	2	5,812
	平成21年	3,413	1,093	106	457	186	130	3	2	1	5,391
比率 (%)	平成22年	67.7%	16.9%	1.8%	8.7%	2.4%	2.1%	0.3%	0.1%	0.0%	100%
	平成21年	63.2%	20.3%	2.0%	8.5%	3.5%	2.4%	0.1%	0.0%	0.0%	100%

※ 酒田医療センターは平成22年11月から非告示医療機関に変更になりました。

13 救急隊員が行った応急処置

(人、回)

処置項目	年別 種別 人員	平成22年					平成21年					増減
		急病	交通事故	一般負傷	その他	計	急病	交通事故	一般負傷	その他	計	
		3,887	410	738	680	5,715	3,589	416	683	652	5,340	
止血	13	24	79	15	131	15	38	82	16	151	△ 20	
固定	22	283	129	57	491	22	301	169	38	530	△ 39	
心肺蘇生	162	2	25	14	203	138	9	22	12	181	22	
うち自動												
人工呼吸のみ	6				6	6			1	7	△ 1	
胸骨圧迫												
うち自動												
酸素吸入	1,496	137	126	209	1,968	1,510	142	108	230	1,990	△ 22	
気道確保	290	8	37	21	356	295	14	34	17	360	△ 4	
うち※1	12		1	2	15	14	1	1	1	17	△ 2	
うち※2	26		10	1	37	13	2	9	1	25	12	
うち※3	119	1	14	8	142	97	8	15	7	127	15	
うち※4	3		4		7	2		3		5	2	
保温	104	16	27	32	179	73	15	21	12	121	58	
被覆	11	63	158	39	271	14	76	145	38	273	△ 2	
在宅療法継続	22		1		23	11		3		14	9	
うち※A												
うち※B	2				2	2		1		3	△ 1	
うち※C	20		1		21	9		2		11	10	
ショックパンツ												
除細動	14		3	1	18	18		2		20	△ 2	
静脈路確保	103	1	16	8	128	87	5	12	7	111	17	
薬剤投与	17		6	1	24	4		2		6	18	
血圧測定	3,663	392	693	525	5,273	3,373	389	631	529	4,922	351	
心音呼吸音聴取	272	49	59	24	404	374	75	54	22	525	△ 121	
血中酸素飽和度測定	3,722	395	700	642	5,459	3,433	390	649	616	5,088	371	
心電図測定	1,524	37	96	133	1,790	1,448	48	86	137	1,719	71	
うち伝送	2				2	3				3	△ 1	
その他	757	4	36	55	852	781	16	43	52	892	△ 40	
計	12,198	1,411	2,191	1,776	17,576	11,602	1,518	2,063	1,727	16,910	666	

※ 気道確保：※1 経鼻エアウェイ使用 ※2 喉頭鏡・鉗子による異物除去 ※3 ラリngeアルマスク等使用 ※4 気管挿管使用
 ※ 在宅療法継続：※A 点滴処置が施された者 ※B 気管切開、人工肛門等の外瘻が施された者 ※C AB以外の者
 ※ 1人につき複数の応急処置を行うこともあるため、対象人員と処置項目の計の数とは一致しない場合があります。
 ※ 不搬送時に処置した件数についても計上したため、搬送人員を上回る場合があります。

14 消防職員の救急隊員資格の取得状況

(人)

年別 \ 資格別	合 計	救急救命士	救急科 (旧救急標準課程含)	旧救急Ⅱ課程	旧救急Ⅰ課程
平成18年	207	24	74	88	21
平成19年	212	28	80	88	16
平成20年	207	29	81	84	13
平成21年	205	30	82	82	11
平成22年	210	32	89	79	10

※ 職員定員(217名)で、その内の資格取得者数を12月31日現在で表したものです。

15 特定行為の実施状況

(件、人)

区分 \ 年別	CPR 搬送人員	特定行為 処置人員	気道確保 実施人員	う ち 気管挿管	静脈路確保 実施人員	薬剤投与 実施人員	特定行為 延べ件数	除細動 実施人員
平成18年	187	137	127	12	94	3	224	17
平成19年	190	133	114	13	94	8	216	24
平成20年	212	164	145	13	117	8	270	25
平成21年	192	150	132	5	111	6	249	20
平成22年	208	163	149	7	128	24	301	18

※ CPR搬送人員とは、救急隊が心肺蘇生又は胸骨圧迫のみ、人工呼吸のみのうちいずれかを実施して搬送した人数です。

※ 特定行為処置人員とは、救急救命士がいずれかの特定行為処置(気道確保、静脈路確保、薬剤投与)を実施した人数です。

※ 特定行為延べ件数とは、気道確保、静脈路確保、薬剤投与を行った処置の件数です。

(除細動は、平成15年4月から医師の具体的指示を必要としないため、特定行為から除外されています。)

16 応急手当普及啓発活動の実施状況

(回、人)

月別	区分	普通救命講習 I	普通救命講習 II	上級救命講習	普及員講習	普及員再講習	指導員講習	指導員再講習	計
1月	回数	3		1					4
	人数	68		20					88
2月	回数	14							14
	人数	280							280
3月	回数	8					1		9
	人数	184					5		189
4月	回数	8							8
	人数	179							179
5月	回数	4							4
	人数	109							109
6月	回数	20	3	1					24
	人数	427	34	8					469
7月	回数	40	1						41
	人数	827	15						842
8月	回数	7				4		1	12
	人数	90				57		3	150
9月	回数	6							6
	人数	92							92
10月	回数	7	1						8
	人数	94	16						110
11月	回数	9			1				10
	人数	183			13				196
12月	回数	8							8
	人数	221							221
22年	回数	134	5	2	1	4	1	1	148
	人数	2,754	65	28	13	57	5	3	2,925
21年	回数	124	6	2	1	4	1	1	139
	人数	2,534	93	50	33	83	4	7	2,804
増減	回数	10	△ 1						9
	人数	220	△ 28	△ 22	△ 20	△ 26	1	△ 4	121

※ 区分の説明

普通救命講習 I (3時間) : 住民に対する標準的な講習です。

普通救命講習 II (4時間) : 住民に対する標準的な講習です。(AEDの一定頻度使用者)

上級救命講習 (8時間) : 普通救命講習より高度な講習です。

普及員講習 (24時間) : 主として事業所又は自主防災組織等において当該事業所の指導員又は自主防災組織等の構成員に対して普通救命講習の指導に従事する者の講習です。

指導員講習 (8時間) : 当広域行政組合の行う普通救命講習又は上級救命講習の指導に従事する者の講習です。

17 消防隊等による救急活動支援の状況

(1) 月別

(件)

(2) 署別

(件)

月別	年別	種別						合計
		C P A	交 通	高 エ ネ ル ギ ー	多 層 階	防 災 へ り	そ の 他	
1	平成22年	11	6	5	8	2	7	39
	平成21年	15	1	4	7		18	45
2	平成22年	4	9	1	7		10	31
	平成21年	6	6	5	4		20	41
3	平成22年	11	2		4		8	25
	平成21年	10	4	3	4		16	37
4	平成22年	9	4	2	7	2	13	37
	平成21年	6	2	3	3		12	26
5	平成22年	8	2	1	8	1	6	26
	平成21年	3	6	3	4		10	26
6	平成22年	4	4	5	4	2	5	24
	平成21年	5	12	1	6	1	8	33
7	平成22年	7	1	2	11		3	24
	平成21年	4	5	2	7	2	8	28
8	平成22年	9	3	4	6	4	4	30
	平成21年	4	6	2	5	1	12	30
9	平成22年	7	2	1	6		6	22
	平成21年	6	3	7	3		9	28
10	平成22年	4	1	3	6		10	24
	平成21年		7	6	3	1	9	26
11	平成22年	12	5	5	8		9	39
	平成21年	8	8	5	11	1	8	41
12	平成22年	10	5	1	4	2	11	33
	平成21年	11	9	4	6		7	37
平成22年		96	44	30	79	13	92	354
平成21年		78	69	45	63	6	137	398
増減		18	△ 25	△ 15	16	7	△ 45	△ 44

署別	年別	種別						合計
		C P A	交 通	高 エ ネ ル ギ ー	多 層 階	防 災 へ り	そ の 他	
消防署	平成22年	30	30	12	51	9	40	172
	平成21年	24	38	23	43	5	45	178
東分署	平成22年							
	平成21年				1			1
西分署	平成22年	23	2	4	13	3	16	61
	平成21年	14	5	4	8		32	63
南分署	平成22年				1			1
	平成21年		1				2	3
立川分署	平成22年							
	平成21年			1				1
余目分署	平成22年	19	6	6	6	1	13	51
	平成21年	14	16	11	6		26	73
遊佐分署	平成22年	23	4	8	8		23	66
	平成21年	24	5	6	5		31	71
八幡分署	平成22年							
	平成21年	2	1					3
松山分署	平成22年							
	平成21年		2			1	1	4
平田分署	平成22年	1	2					3
	平成21年		1					1
平成22年		96	44	30	79	13	92	354
平成21年		78	69	45	63	6	137	398
増減		18	△ 25	△ 15	16	7	△ 45	△ 44

※ 救急活動支援（P A連携）とは、消防隊や救助隊が現場に出動し、救急隊の処置や搬送等を支援したり、交通事故現場において、救急隊の安全確保のための支援活動のことです。

※ その他とは、搬送困難、加害、傷病者多数などの支援活動のことです。

18 事故種別救助活動の状況

(件、人)

年 別 区 分 事 故 種 別		平 成 2 2 年			平 成 2 1 年		
		出 動 件 数	活 動 件 数	救 助 人 員	出 動 件 数	活 動 件 数	救 助 人 員
火 災	建 物	2	2	1	5	5	1
	建 物 以 外	1	1	1			
交 通 事 故		30	15	18	39	25	25
水 難 事 故		3	1		3	1	1
風 水 害 等 自 然 災 害					1		
機 械 に よ る 事 故		1	1	1	2	2	2
建 物 等 に よ る 事 故							
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故		3	3				
破 裂 事 故							
そ の 他 の 事 故	山 岳 事 故	7	5	6			
	そ の 他	5	2	2	13	5	5
合 計		52	30	29	63	38	34

※ 「その他の事故」とは、火災から破裂事故までに該当しない事故のことです。

※ 平成20年度に当組合で山岳救助隊が発隊し、その活動状況を分かりやすくするために、「その他の事故」を更に「山岳事故」と「その他」に分類しました。

19 月別の救助活動の状況

(件、人)

月別	年別	救助事故種別										合計	
		火災		交通事故	水難事故	風自然 水災害等	機よる 械事に故	建よる 物等に故	ガ酸 ス欠 及事 び故	破裂 事故	その他の事故		
		建 物	建以 物外								山事 岳故		そ の 他
1	平成 22年			1 (3)					1				2 (3)
	平成 21年			1 (1)									1 (1)
2	平成 22年			2 (3)					1				3 (3)
	平成 21年			3 (3)			1 (1)					1 (1)	5 (5)
3	平成 22年	1		2 (2)									3 (2)
	平成 21年				1 (1)								1 (1)
4	平成 22年			2 (2)					1				3 (2)
	平成 21年	1										1 (1)	2 (1)
5	平成 22年										1 (1)		1 (1)
	平成 21年	1 (1)		3 (3)								1 (1)	5 (5)
6	平成 22年		1 (1)								1 (1)		2 (2)
	平成 21年	1		1 (1)									2 (1)
7	平成 22年			4 (4)	1						1 (2)		6 (6)
	平成 21年			5 (5)									5 (5)
8	平成 22年											1 (1)	1 (1)
	平成 21年	2		1 (1)			1 (1)					1 (1)	5 (3)
9	平成 22年			1 (1)			1 (1)				1 (1)		3 (3)
	平成 21年			3 (3)									3 (3)
10	平成 22年			1 (1)									1 (1)
	平成 21年			4 (4)								1 (1)	5 (5)
11	平成 22年	1 (1)		2 (2)								1 (1)	4 (4)
	平成 21年			1 (1)									1 (1)
12	平成 22年										1 (1)		1 (1)
	平成 21年			3 (3)									3 (3)
平成 22年計		2 (1)	1 (1)	15 (18)	1		1 (1)		3		5 (6)	2 (2)	30 (29)
平成 21年計		5 (1)		25 (25)	1 (1)		2 (2)					5 (5)	38 (34)

※ ()内は救助人員です。

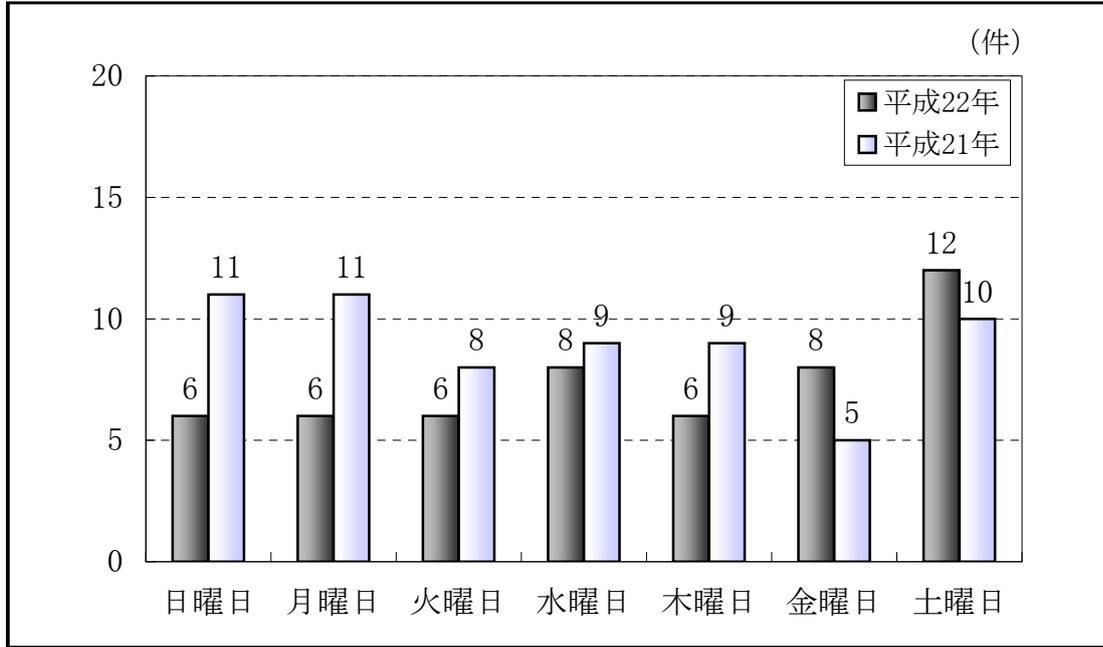
20 市町別救助活動件数及び救助人員

(件、人)

市町別	年別	救助事故種別										合計	
		火災		交通事故	水難事故	風自然水災害等	機よる械事に故	建よる物等に故	ガ酸ス欠及び故	破裂事故	その他の事故		
		建物	建以外								山事岳故		その他
酒田市	平成22年	2 (1)		9 (12)	1				1		3 (3)	2 (2)	18 (18)
	平成21年	4 (1)		15 (15)	1 (1)			1 (1)				4 (4)	25 (22)
旧酒田市	平成22年	1 (1)		7 (9)	1				1			2 (2)	12 (12)
	平成21年	4 (1)		10 (10)	1 (1)							4 (4)	19 (16)
旧八幡町	平成22年	1		1 (2)							3 (3)		5 (5)
	平成21年			2 (2)									2 (2)
旧松山町	平成22年			1 (1)									1 (1)
	平成21年			1 (1)									1 (1)
旧平田町	平成22年												
	平成21年			2 (2)				1 (1)					3 (3)
庄内町	平成22年			3 (3)					2				5 (3)
	平成21年	1		6 (6)									7 (6)
旧立川町	平成22年			1 (1)									1 (1)
	平成21年			2 (2)									2 (2)
旧余目町	平成22年			2 (2)					2				4 (2)
	平成21年	1		4 (4)									5 (4)
遊佐町	平成22年			3 (3)				1 (1)			2 (3)		6 (7)
	平成21年			4 (4)				1 (1)				1 (1)	6 (6)
管外	平成22年		1 (1)										1 (1)
	平成21年												
平成22年計		2 (1)	1 (1)	15 (18)	1			1 (1)		3	5 (6)	2 (2)	30 (29)
平成21年計		5 (1)		25 (25)	1 (1)			2 (2)				5 (5)	38 (34)
増減		△3 (0)	1 (1)	△10 (△7)	0 (△1)			△1 (△1)		3	5 (6)	△3 (△3)	△8 (△5)

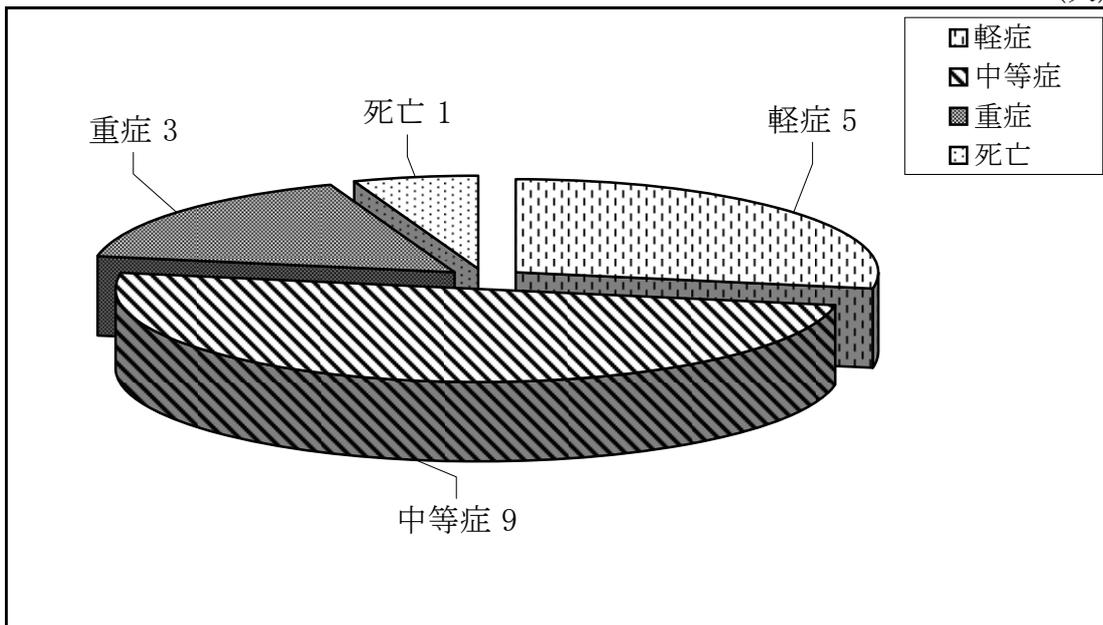
※ ()内は救助人員です。

21 曜日別救助出動の状況



22 交通事故における要救助者の重症度の状況

(人)



23 酒田管内へのヘリコプター出動状況

ヘリ種別	出動区分			救助人員
	救急	山岳救助	計	
山形県ヘリ(もがみ)	1	6	7	7
秋田県ヘリ(なまはげ)	2		2	2
新潟県ヘリ(はくちょう)	1		1	1
山形県警ヘリ(がっさん)		1	1	1
計	4	7	11	11

24 消防救助技術指導会出場状況（過去5年間）

山形県指導会

大会回数	実施年月日	出場種目	成績
18	H18.6.29	障害突破 引揚救助 ほふく救出 ロープ応用登はん ロープブリッジ渡過 ロープブリッジ救出	入賞 入賞 入賞 入賞
19	H19.6.29	障害突破 引揚救助 ほふく救出 ロープ応用登はん ロープブリッジ渡過 ロープブリッジ救出	入賞 入賞 入賞 入賞
20	H20.6.27	障害突破 引揚救助 ほふく救出 ロープ応用登はん ロープブリッジ渡過 ロープブリッジ救出	入賞 入賞 入賞 入賞
21	H21.6.25	障害突破 引揚救助 ほふく救出 ロープブリッジ救出	入賞 入賞 入賞
	H21.6.26	ロープブリッジ渡過	入賞
22	H22.6.30	障害突破 引揚救助 ほふく救出 ロープブリッジ救出	入賞 入賞 入賞

東北地区支部消防救助技術指導会

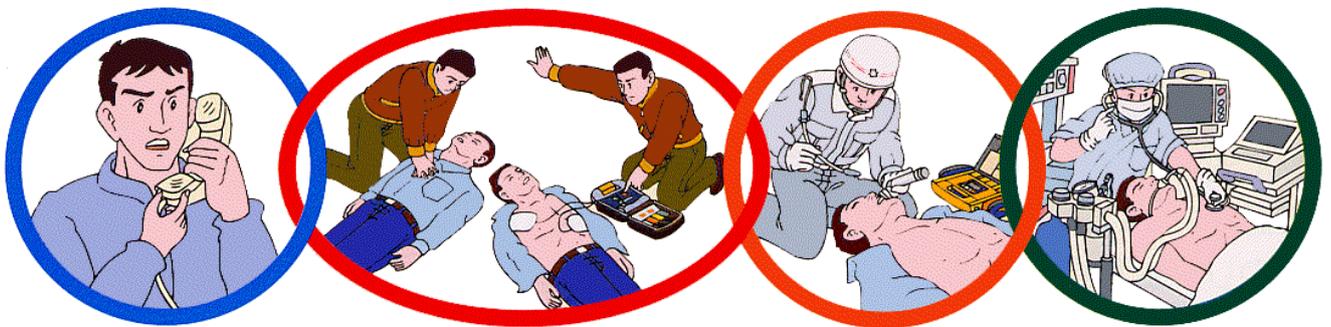
大会回数	実施年月日	出場種目	成績
35	H18.7.20	障害突破 引揚救助	入賞
36	H19.7.26	新潟県中越沖地震のため 東北地区支部消防救助技 術指導会中止	
37	H20.7.24	岩手県岩手北部地震のため 東北地区支部消防救助技 術指導会中止	
38	H21.7.23	障害突破 引揚救助 ロープブリッジ救出	
39	H22.7.29	障害突破 引揚救助 ロープブリッジ救出	入賞

※ 第35回東北地区支部消防救助技術指導会から訓練種目は、引揚救助、障害突破及びロープブリッジ救出の3種目となっています。

全国消防救助技術大会

大会回数	実施年月日	出場種目	成績
36	H19.8.22	ほふく救出	入賞
37	H20.8.29	ロープブリッジ渡過	入賞
38	H21.8.20	ほふく救出	入賞
		ロープブリッジ渡過	入賞

命を救う救命のリレー



◎早い通報

◎早い救命手当と除細動

◎救急隊の処置

◎医療機関の処置